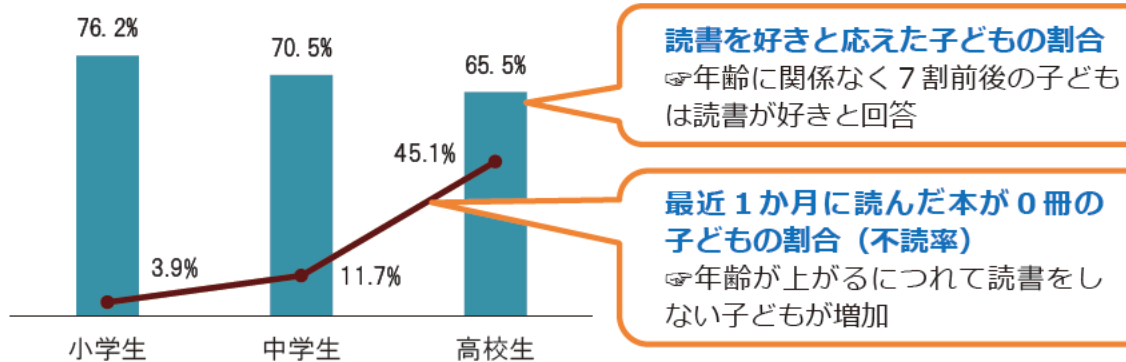


小学校編 テーマ4 どうしたら本を読むようになるのかな

ワーク1 読書が好きな子どもは年齢に関係なく7割前後います。その一方で、年齢が上がるにつれて読書をしない子どもが増えていきます。どうしてそうなるのでしょうか。考えられる理由を話し合ってみましょう。

<読書が好きな子どもの割合と、最近本を読んでいない子どもの割合>



資料：文部科学省「地域における読書活動推進のための体制整備に関する調査研究(平成27年度)」

※ 調査対象は小学5年生、中学2年生、高校2年生



ワーク用エピソード

鈴木さんは太郎君にもっと本を読んでもらいたいと思っていますが、太郎君はいつもゲームをしたりテレビを見ていて、なかなか本を読もうとはしてくれません。

鈴木さん：ゲームばかりしないで、たまには本を読んでもみたらどうだ。

太郎君：エー、ゲームの方が面白いよ。

鈴木さん：本の方がためになるんだ。いくらゲームしたって偉くなれないぞ。

太郎君：じゃあ、父ちゃんが読めば？ 父ちゃんだっていつもパソコン見とるやんか。

このところ鈴木さんはパソコンを使って町内会の行事に必要な資料の作成をしているのですが、遊んでいると誤解されているようで、いくら言っても太郎君は本を読もうとはしてくれません。

ワーク2 あなたは普段本を読んでいますか。最近、どんな本を読んだか、それはいつ頃だったか、話し合ってみましょう。

ワーク3 エピソードのように子どもに本を読ませるのに苦労した経験はありませんか。子どもが本を読むようになるために、家でどんな工夫ができるか、考えたことを話し合ってみましょう。資料シートにもいろいろな例が出ているので参考にしてください。